

# 大阪薬科大学報

# 79

2019年(令和元年)  
7月15日発行

*Taisho*



*Showa*

*Heisei*

令和第1号



Our history goes on...

*Reiwa*

# 目次

CONTENTS

カテゴリ	内 容	掲載ページ
挨拶	学長挨拶	03
連載	OB・OGの活躍	04
報告	薬剤師国家試験について	05
連載	応援隊長だいやくんの「大薬の足跡を追いかける！」	06-08
報告	三大学医工薬連環科学教育研究機構の活動状況(その16)	09
	がんプロ事業活動報告	
	大学統合について	10-11
キャンパスニュース	・国際交流 ・新入生ガイダンス ・新入生交流・導入教育について ・五月祭(新入生歓迎会)が開催されました ・大薬祭「harmony」が開催されます ・薬大ガーデンキッチン	12
	・2018年度学生表彰を行いました	13
	学生相談室だより	14
	・FD委員会活動報告 ・2018年度学位授与	15
	・2019年度白衣授与式について ・2018年度実務実習伝達・報告会について ・2018年度大阪薬科大学研究振興基金助成について	
	・研究助成金採択一覧 ・2019年度科研費採択者一覧	16
	2019年度 大阪薬科大学 生涯学習開講プログラム一覧	17
	・オープンキャンパス報告 ・夏のオープンキャンパス2019	18
キャリアサポート課だより	19	
ピックアップ	クローズアップYAKUDAI	20-21
連載	がっつきたかつき	22-23
	クラブ紹介「陸上競技部」	24
報告	・人事	25
挨拶	新任挨拶	26
キャンパスニュース	・第7回大阪薬科大学学術講演会 in 東京を開催 ・高槻市主催「けやきの森市民大学」へ講座提供 ・退職記念講義を開催 ・本学の社会貢献活動	27
	・退職記念パーティーを開催 ・2018年度学位記授与式を挙行 ・2019年度入学式を挙行 ・体育館吊天井・LED照明改修工事	28
	フロムLibrary	29
	こちら広報室 / 編集後記	30-31
	薬用植物の紹介「オオバコ」 / 2019年度 後期行事予定	巻末

## 【表紙解説】

大正、昭和、平成とそれぞれの時代の実習風景を掲載しました。

大正時代…白衣が割烹着

昭和時代…女子学生の髪型が特徴的。サイドを後ろに流す聖子ちゃんカットからワンレングスへの変遷期

平成時代…薬学教育6年制移行に伴い、実習も事前学習がスタート

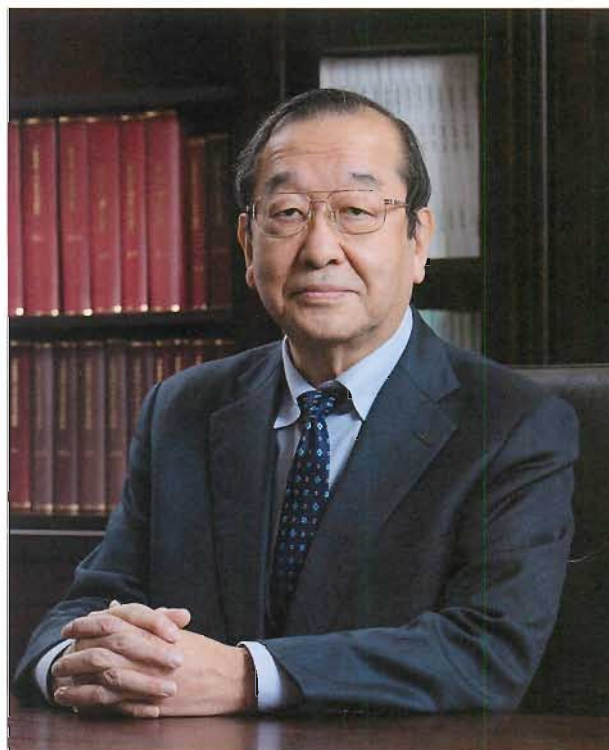


# Message from the President

## 学長 政田 幹夫

平成時代も終わりを告げ、「令和」と言う新時代に入りました。薬学・薬剤師にとって平成時代は激動の時代でした。先進欧米諸国と肩を並べるべく薬学六年制が導入され、病院薬剤師業務に薬剤管理指導料・病棟薬剤業務実施加算が認められ病棟で活躍する薬剤師が現れました。一方、「令和」に元号が変わる直前の4月2日に薬生総発0402第一号「調剤業務の在り方について」が発せられ、所謂「テクニシャン制」の容認？また、薬局薬剤師業務が70%超の処方せん受取率に達したものの、4月10日の財政諮問会議では「調剤料等、報酬を大胆に適正化すべき」と大幅な引き下げが迫られました。更に、5月16日の財政制度等審議会においては薬学六年制の成果を問題視（修業年度内（六年間での）薬剤師国家試験合格率が50%未満の私立大学が約半数存在）し、教育の質保証が不十分な大学には税補助（私学助成金？）対象外にとの意見が出され、薬学・薬剤師ともに「令和」の時代は厳しいものと成る冬の時代に突入するかのような幕開けです。

薬学六年制は、欧米先進諸国の薬学・薬剤師教育に追いつくべく、今までの薬学教育に加え、臨床（薬学）教育に重点を置き、新コア・カリキュラムには薬剤師として求められる基本的な10の資質を定め、医療現場における実務実習を必須化した筈であります、



全く異なった理由で学校経営者？が薬学部・薬科大学を増加、薬学志願者を煽ったようであり、修業年度内に卒業・薬剤師国家試験に合格出来ない学生数が相当数に上るという現状が起きてしまいました。薬局・病院・製薬企業等臨床（医療）現場（人の命に係わる）で働く職種に就く最低限の心構えは、小説・テレビドラマ化された「白い巨塔」の里見准教授の台詞にある「医療は人間の祈りだ。神を畏れ、神に祈るような、敬虔な心で、患者の生命と尊厳を守る。それが出来なければ、医療にたずさわるとは、赦されない。」という精神を胸に刻んでください。薬学士・薬剤師は臨床（医療）現場で働く頭脳労働者です。臨床（医療）現場、人の命に係わる職種に居る限り、一生涯学問に勤まなければなりませんし、医療倫理だけではなく人としての倫理観を忘れてはなりません。教職員は基より学生諸君も医の倫理、人間としての倫理観を胸に自分の果たすべき役割を遂行しましょう。学生諸君は学生の本文である勉学に勤しみ、医療・生命科学研究に身を置くならば一生涯学問を続ける覚悟を植え付けることを願います。



愛知学院大学薬学部 生体有機化学講座  
教授 神野 伸一郎 さん(2003年卒)

### Q.現在は、どのようなお仕事をされていますか？

世界で誰もやっていないことへ挑戦しよう！を合言葉に、物質と生命を「光」で繋ぐ「光創薬研究」に取り組んでいます。私たちの研究で、未来の処方箋には、医薬品名に加えて、「～nmのLEDライト」といった処方内容が記載されるかもしれません。

さて私たちは、光や色で満ちあふれた中で生活し、それを見たり感じたりすることで、無意識に興奮したり、癒やされたりします。また光はエネルギーのかたまりでもあり、夏のジリジリした日差しを浴びて、皮膚が日焼けや炎症を起こすのは、光がエネルギーをもつことを体感できる良い例です。実は、この光のエネルギーを病気の診断や治療にうまく活かせないかと考えています。と言っても、患部に光をあてるだけでは、高い治療効果は望めないうえに、体へのダメージが大きくなります。そこで一定の波長の光を吸収する新たな物質を有機化学の力で合成する「ものづくり」と、物理化学を駆使して、光のエネルギーを患部に効率良く伝え治療するなどのポテンシャルを物質から引き出す、「機能づくり」の研究に取り組んでいます。そして、これら光機能性化合物を生命化学や医療に役立てることを目指し、研究室のスタッフや学生さんと日夜頑張っています。

## OB・OGの活躍

### Q.大薬生時代に打ち込んだことは何ですか？

入学時からバドミントン部に入っていました。当時は3回生になると、各クラブから大薬祭の実行委員会を選出する決まりになっていたのですが、幸か不幸かその1人に選ばれてしまいました。始めはバドミントンもあるし、面倒だなと思い嫌々活動していましたが、楽しい先輩や同級生達に囲まれるなか、折角なら一生懸命やってみようかと思い、さまざまなイベントの企画と運営にたずさわりました。この大学祭の運営に打ち込んだことで、何事も手を抜かずやり抜くことの大切さを学び、その経験は現在の「ものづくり」の仕事にも繋がっているなど感じています。

### Q.大阪薬科大学は大阪医薬科大学と法人合併しましたが、今後望むことはありますか？

「大阪薬科大学は、100年を超える歴史をもつ伝統校です」。これは大薬に入学してから卒業までの間、何度も耳にしたフレーズで、当時は誇らしく感じたものでした。今回の法人合併により、新しい考えや文化が融合すると思います。大きな流れに抗わず、しかしこれまでに培った伝統の本質を守りながら、「革新」していくことで、大きく発展してほしいです。

### Q.在学生へのメッセージをお願いします。

自分が熟中できることや強みとなることを探してもらいたいと思います。私の場合、自身が研究者や大学教員になるとは夢にも思っていませんでした。一方、目の前にある事(研究)に打ち込み、積み重ねていくことで、自分の生きる道が決まりました。そして研究を通してさまざまな人と出会い、生きる術を覚えてもらっています。

どうしても薬剤師国家試験の合格を最終目標としてしまいがちですが、それはただの通過点に過ぎず、その後の人生は驚くほど長く、たくさんの苦難や答えのない問題に直面します。また薬剤師が淘汰される時代が必ず来るとも言われています。そんなとき、「自身の強みを活かし、新しい道を自ら切り拓いていける人間力」を培ってもらいたいと思います。そのためには、ぜひ「基礎研究」にチャレンジしてください。その中で、さまざまな課題を自ら探し、そして解決できる力を培って欲しいです。「薬剤師免許 + α」ができるヒトになれるのが、110年を超える大阪薬科大学の伝統だと思います。



## ■ 薬剤師国家試験について

薬剤師国家試験対策委員長 岩永 一範(教授)

第104回薬剤師国家試験が2月23、24日に行われ、全国で新卒8,801名、既卒4,442名、その他202名の受験者が挑みました。難易度としては科目により若干の差はあるものの「中程度からやや難」のレベルでした。ただ、臨床現場での実践力に関連する問題の増加傾向は変わっておらず、5年次での実務実習での経験を「単なる体験」で終わらせ、きちんと知識として修得できていない学生にとっては今後ますます厳しい試験になると考えられます。現在実務実習に臨んでいる学生のみならず、1-4年次の学生の皆さんもこの点を念頭において、しっかりと実務実習の現場で多くのことを学んで欲しいと思います。

さて、私立大学新卒者の平均合格率が84.77%であったのに対して、本学の新卒者の合格率は、82.10%、全国私立大学56校中34位と非常に残念な結果に終わりました。本学合格者の内訳では、留年経験の無い学生の合格率は86.1%、留年経験のある学生の合格率は60.6%でした。ここ数年指摘し続けている留年経験者の合格率の低迷傾向は本年も昨年(62.5%)同様であり改善傾向は認められませんでした。今回の結果について特筆すべきは、留年経験なしの学生の成績が振るわなかった点にあり、大きく順位を落とす原因になったことです。これまで留年経験の無い学生の合格率は第103回92.6%、第102回92.6%といずれも90%を越えていましたが、第104回は86.1%と大幅に低下しました。もはや本学においても、「留年経験がなければ間違いなく1回で国家試験に合格できる」とは限らないと言えるでしょう。留年経験のある学生が国家試験に合格するためには少しでも早く勉強にとりかかり、9月の時点で留年経験の無い学生たちのレベルに追いつくことが必須です。このレベルに近づいていないと国家試験はおろか卒業が危ぶまれることになります。一方、留年経験の無い学生は過信せず、計画を立てて効率的に勉強を行って下さい。国家試験の出題範囲は、1~5年で履修した全教科に相

当し膨大です。6年次に開講されている「薬学総合演習」が所謂国家試験対策の授業になりますが、授業の際にのみ勉強をしていては全く間に合いません。ガイダンス時に示した通り、自分で計画を立てて学習を行い、「授業は確認のために利用する」ことを心掛けてください。6年次生は就活や卒業研究に要する時間が必要で、前期に国家試験勉強に費やせる時間は限られています。あとで覚えたり、あとで理解したりする時間は無いことを自覚して学習を進めて下さい。

また、昨年度の学生の模擬試験結果等の解析を行ったところ、薬学総合演習正規試験終了後~国家試験本番までの約1か月の学力の伸びがあまりありませんでした。このような傾向は今までにはなく、薬剤師国家試験合格ではなく卒業を目標としてしまった学生が少なからずいたことを示しています。この期間にどれだけ真摯に取り組めるか否かで、それまで頑張ってきた苦労が水泡と帰することをしっかりと認識して下さい。

6年次生学生のご父兄の皆様方におかれましては、ご子息、ご息女が卒業、国家試験合格へ向けて、どの程度実力をつけているのかご心配のことと存じます。薬学総合演習では年に7回の薬学総合演習総合試験(模擬試験)を行い、毎回結果に基づく診断カルテを配布し、自己学習の改善に用いるよう指導しています。また、模擬試験結果を年2回に分けて、ご父兄に郵送致します。学生達は多大なプレッシャーの中で日々努力をしていますので、ご父兄からも応援の言葉を掛けて頂くことで、モチベーションが高まることを期待しております。

第104回の国家試験が極めて不本意な結果であったことを反省し、国家試験対策委員を始め全学をあげてV字回復を目指して支援をしていく所存です。ただ、最後は学生の皆さんの「必ず国家試験に合格する」という強い意志で決まります。この意思をしっかりと持ち続け、来春には一緒に栄冠を勝ち取りましょう。

### 第104回薬剤師国家試験結果

区分		受験者 (名)	合格者 (名)	合格率 (%)	私立全国平均(%) 私立全国順位
6年制 新卒	男	116	93	80.17	84.77 34位/56校
	女	208	173	83.17	
	計	324	266	82.1	
6年制 既卒	男	69	12	53.62	42.84 19位/56校
	女		25		
	計		37		
総合		394	304	77.16	69.85 22位/56校

2019年2月23日、24日施行

応援隊長だいやくんの

# 大薬の足跡を追いかけて！



## 守口校舎編：志 天高く

### 【前回までの経緯】

明治37(1904)年に道修町に誕生した大阪道修薬学校は、その後、南久太郎町、伝光寺の仮校舎を経て、大正9(1920)年に阿部野校舎へ移転します。阿部野校舎での約4年半の間、廃校の危機に直面するものの、秋山卓爾氏を新しく校主に迎えて困難を乗り越え、日本初の女子薬学専門学校昇格を目指すこととなります。それと並行して新しい校舎への移転も進み、大正13(1924)年9月、大阪府北河内郡守口町大字土居309番地(現在の守口市梅園町82番地)の守口校舎へ移転を果たしました。

### ■校名に示されたプライド

大正13年(1924)年9月に阿部野校舎から移転した守口校舎は、現在の京阪電鉄「滝井駅」のすぐ東側にありますが、当時、「滝井駅」は存在しておらず、明治43(1910)年に開業していた「森小路駅」が最寄り駅となっていて、そこから15分程度歩かなくてはなりません。昭和6(1931)年に蒲生駅(現在の京橋駅)～守口駅間が専用軌道化された際に「滝井駅」が新しく設置され、同時期に「森小路駅」は少し東側に場所を移設して「森小路千林駅」となり、さらに昭和17(1942)年には「千林駅」と改称されました。よって、

当時の最寄り駅であった「森小路駅」は、現在その姿はありません。ちなみに、現在の「森小路駅」は、昭和6(1931)年に「新森小路駅」として開業され、昭和17(1942)年に「森小路駅」となりました。



守口校舎写真  
写真提供：朝日新聞社



当時の制服  
写真提供：朝日新聞社

素敵な制服！



昭和初期の周辺地図。当時の森小路駅と学校の位置関係がわかる。当時の森小路駅右上にある「京阪商業」は後の大阪府立守口高校(現在は廃校)(大阪市立中央図書館所蔵「大阪市街地図」より)



千林商店街に「旧・森小路駅跡」のプレートがある

守口校舎に移転を果たした大正13(1924)年は、学校創立20周年の節目の年ではありましたが、専門学校昇格の認可を見据え、記念式典等の開催は控えており、晴れて日本初の女子薬学専門学校「道修女子薬学専門学校」が誕生した大正14(1925)年の創立記念日である5月9日には、昇格記念と創立20周年記念を兼ねて盛大な式典が執り行われ、関係者やその年に入学した新入生163名、2年生114名、3年生57名、計334名の生徒たちと喜びを分かち合いました。

昇格<sup>並</sup>二十週年記念式々次

一、一同着席(午前十時)

一、互禮

一、君ヶ代二唱

一、校長式辭

一、経過報告(秋山幹事)

一、文部大臣祝辭

一、大阪府知事祝辭

一、來賓祝辭

一、校歌合唱

右終つて

一、餘興及模擬店開始

一、紀念品贈呈

大正十四年五月九日

道修女子薬学専門学校

昇格と創立20周年の記念式典式次第



昇格記念式典の日の秋山校長夫妻

大正14(1925)年当時の在學生334名の出身地は、北は北海道、南は鹿児島までの33道府県に分布し、出身学校別では朝鮮、台湾、関東州にまで及んでおり、その注目度の高さが窺えます。大阪の薬問屋の街の町会所で産声を上げた小さな薬学校が今や全国から生徒が集まる日本初の女子薬学専門学校までに成長したのです。それに相応しい名称は何かと考えたとき、大阪という地域を越え「帝国」の名を採用したことに学校のプライドが見え隠れます。かくして、道修女子薬学専門学校は、大正14(1925)年10

月に華々しく帝国女子薬学専門学校と名を変え、これによって発祥の地である「道修」の名が消えることになりました。

道修の名前が消えるのは  
ちょっと寂しいね



## さらなる目標

我が国唯一の女子薬学専門学校という名誉を受け、全国の注目を集めたことは想像に難くありませんが、これはさらなる目標に向かった序章に過ぎませんでした。

その目標とは、薬剤師法第2条第2項第1号による「指定」を文部省(当時)から受けることでした。それは国家試験を受けなくても卒業と同時に薬剤師免許が取得できるという「無試験」の指定でした。この指定を得るには、専門学校認可後2年の期間が必要であったので、2年が経過するまでは準備期間であったといえます。

しかし、目標達成には重大な問題をクリアする必要があります。指定を受けるにあたっては、文部省から3年制ではなく4年制をとるよう指導を受けていたものの、女子の場合、4年制よりも3年制の方が学生を集めやすいだろうし、3年制でも指定はもらえるであろうと楽観視していました。しかし、どうやらやはり4年制でないと指定は得られないことをようやく認識したのは、認可後1年経ってからでした。結局、修業年限を1年延長することを決めざるを得ない状況となりましたが、もちろん、それには父兄の同意が必要であったことはいうまでもありません。当時の野崎校長は父兄宛に手紙を送し、その事情を説明して同意を求めることとなりました。

手紙の内容は半ば強引なものではありませんでしたが、何とか同意を得て修業年限を1年延長し、大正15(1921)年4月から4年制の新学則を実施することとなり、昭和2(1927)年11月、念願の指定を受けることができました。本校を卒業すると即時に薬剤師の免許が与えられ、成績優秀者にはさらに中等学校化学科教員免許状も同時に与えられることになったのです。昭和3(1933)年3月の卒業式には、めでたく指定第1回目の卒業生79名が女子薬剤師として巣立って行きました。

その年の5月26日には女子薬学専門学校として全国初の指定を受けた名誉を祝し、講堂にて盛大な祝典が挙行されました。



式典を挙行了した講堂は記念館と称した



指定祝賀会の模様

## ■新たな地を求めて

指定という大きな目標を達成はしましたが、新たな問題が立ちふさがっていました。それは校地・校舎の問題でした。守口校舎は2,000余坪の広大な校地ではありましたが、入学定員480名の専門学校に成長し、校舎が建ち揃って見ると、運動場は狭く、これ以上の増築や薬草園などの施設拡張も望めない状況でした。昭和4(1929)年には入学定員を600名に増員し、ますます苦境に立たされたため、新しく校地を他の場所に求め、鉄筋コンクリート造りの大きな校舎を建てる構想を練り始めました。

- ・校地の広さは最低でも8,000坪
- ・大阪市の境界から20分以内
- ・最寄りの駐車場から5丁(約545メートル)以内
- ・土地が高燥であること

これらを前提条件として土地探しに奔走した結果、大阪府南河内郡北八下村大字河合504番地(現在の大阪府松原市河合2-10-65)に8,059坪の土地を確保することができ、昭和7(1932)年10月、守口校舎に別れを告げ、松原の地へと移転を果たしました。

当時、大阪鉄道(現在の近畿日本鉄道)の河内松原駅～布忍駅間には駅がなかったため、移転に合わせて新しく高見ノ里駅が開業しています。帝国女子薬学専門学校は、この地でさらなる飛躍を遂げることとなるのです。

以下、次号に続く。

## ■守口校舎のその後

昭和7年(1932)10月に松原の地へ移転した後の守口校舎跡はどうなったのでしょうか。学校移転後は、大阪府職員滝井宅舎の敷地として住宅が立ち並んでいましたが、平成18(2006)年に「大阪府職員滝井宅舎跡地まちづくり事業」としてコンペが実施

され、現在は大規模マンションが建っています。



守口校舎があった場所にはマンションが建つ(内環状線より望む)



松原への移転前年に開業した滝井駅(現在の姿)



すぐ近くには大阪国際滝井高校がある。(前身の帝国高等女学校は帝国女子薬学専門学校の姉妹校であった)

## ■年表【守口時代】

大正13(1924)9月	女子薬学部のみ守口新校舎へ移転(男子部は阿部野校舎に留まる)
大正14(1925)1月	財団法人道修女子薬学専門学校設立認可
大正14(1925)10月	帝国女子薬学専門学校に校名変更
大正15(1926)4月	学則を改正し、修業年限を4年に延長
昭和2(1927)11月	薬剤師法第2条第2項第1号の指定を受ける
昭和3(1928)5月	指定祝賀会挙行政
昭和4(1929)4月	入学定員を600名に増員
昭和7(1932)10月	南河内郡北八下村大字河合に移転



## 三大学医工薬連環科学教育研究機構の活動状況(その16)

准教授(特任) 銭田 晃一

関西大学・大阪医科大学・大阪薬科大学 医工薬連環科学教育研究機構は2009年度に発足しこれまで10年間にわたって医学、工学、薬学分野の相互理解を高める教育活動と高槻市など地域への社会貢献活動に取り組んできました。毎年その活動内容は3月に発行するニュースレターで紹介していますが、最新の第12号表紙は大学の正面玄関からD棟の学舎を背景に永井純也教授の挨拶文が掲載されています。本機構は連携体制の推進に向け、三大学間で新たに協定を締結、2019年4月からの「関西大学・大阪医科大学・大阪薬科大学医工薬連環科学教育研究機構規程」ではこれまでの事業内容を受け継ぐ「教育部門」に加え、研究面での協働も充実すべく「研究部門」が新設され、再出発しています。「教育部門」が担当する社会還元活動事業では小学校へのお出張講義や夏休みの自由研究に対する顕彰制度やシンポジウムを継続して行うことになりました。三大学の学生への「双方向講義」もこれまで通りに実施しています。前期は大学から「生薬学」を関西大学に向けて配信し、化学生命工学部などに所属する学生が受講しています。講義だけでなく、6月11日には大学の学生と一緒に武田薬品

工業(株)京都薬用植物園見学にも参加されました。双方の学生にとって記憶に残る貴重な体験になったことでしょう。また、「医工薬連環科学」は月曜5限に大阪医科大学、大阪薬科大学、関西大学の順に配信し、本学では現在55名がテレビ会議システムによりリアルタイムで受講しています。

本機構の再出発に合わせて、機構のWEBサイトもリニューアルしています。活動内容、各部門の紹介やニュースレターも掲載されていますので是非ご覧下さい。

(<http://www.kansai-u.ac.jp/mpes-3U/>)



医工薬連環科学講義風景「医科大配信時」



医工薬連環科学講義風景「本学配信時」

## がんプロ事業活動報告

本学は、文部科学省の第3期のがんプロ関連事業である平成29年度「多様な新ニーズに対応する『がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)』養成プラン」に大阪大学を拠点とする関西7大学で「ゲノム世代高度がん専門医療人の養成」を課題として参画しております。「ゲノム医療に精通し、重篤副作用の回避と疼痛の調節を行えるがん専門薬剤師の養成」を本学の分担課題として活動を展開しておりますが、本年度からがんプロ事業の一環と

して、大阪大学大学院薬学研究科、神戸薬科大学大学院薬学研究科、本学大学院薬学研究科と合同でゲノム世代の先進医療にライフステージに応じて対応できる薬剤師を養成することを目的にインテンシブコースを開設し、年に1回薬学系3大学連携合同シンポジウムを開催することとなりました。

本年度のセミナーは、以下のとおり開催いたします。

### 薬学系3大学(大阪大学・神戸薬科大学・大阪薬科大学)主催 第1回連携合同シンポジウム 「がんのゲノム情報に基づく最適のがん薬物療法を担うことのできる薬剤師の養成」

日時

2019年7月28日(日) 13時~17時

場所

大阪国際がんセンター 大講堂  
(〒541-8567 大阪府大阪市中央区大手前3-1-69)

共催

大阪国際がんセンター、日本薬学会近畿支部

【プログラム】

13:00~13:55

「がんゲノムの医療の現状と将来展望」

大阪大学大学院医学系研究科 がんゲノム情報学 教授 谷内田 真一

14:00~14:55

「がんゲノムの医療と現状と課題」

兵庫県立大学大学院看護学研究科 がん看護学 准教授 川崎 優子

15:15~16:00

「抗がん薬 Up to Date ~分子標的薬の薬学的管理について~」

大阪薬科大学循環病態治療学研究室 准教授 加藤 隆児

16:05~16:50

「がん外来化学療法センター外来での薬剤師の患者対応」

大阪医科大学附属病院 薬剤部 後藤 愛実

2021年4月

大阪薬科大学は大阪医科大学と大学統合し、

大阪医科薬科大学<仮称>として新たなスタートを切ります

学校法人大阪医科薬科大学は、大阪医科大学・大阪薬科大学を統合し、時代を先取りした特色ある医療系総合大学に発展させる計画を決定しました。大学統合の目的は以下のとおりです。なお、大阪医科薬科大学<仮称>薬学部は引き続き、現在の大阪薬科大学キャンパスを活用します。 ※英語表記 Osaka Medical and Pharmaceutical University / 略称 OMPU



2020年3月設置認可申請予定/本計画は今後変更になる可能性があります

統合の目的

次世代を担う  
良質の  
医療人の養成

医薬看が連携・  
融和する先進的医療  
体制の構築・提供

特色ある学際的教育・  
研究と新たなチーム  
医療教育の推進

専門職連携教育の  
強化と実践力の  
涵養

大阪医科薬科大学(仮称)のビジョン



## 医薬看連携教育について

大学統合後は、現在行っている以下の医薬看連携教育を一層拡充し、次世代に求められる薬学人を育てます。

### 1年次 医療人マインド

他の専門職と協働し、チーム医療に必要な実践力を身につける問題解決に向けたグループワーク

### 2年次 専門職連携教育

医療におけるチーム連携の必要性を理解し、各専門職の役割や機能を学びながら、医療人として相応しい態度を備えるための医・薬・看 三学部合同講義

### 5年次 多職種連携地域医療実習

地域医療における専門職連携の実際を学び、チームワークの重要性とそれぞれの役割を考察する高知県での実習

### 6年次 医薬看融合ゼミ

ゼミ形式で医療の安全や倫理的判断について討議し、チーム医療に対する理解を更に深めるチーム医療教育



## 大阪医科薬科大学(仮称)建学の精神

### 医療人育成機関の使命は、教育と研究であり、またこれらは医療の実践に活かすことで達成される

大阪医科大学の前身となる大阪高等医学専門学校は、旧財団法人大阪高等医学専門学校を設立した吉津度(よしづわたる)の唱える「**医療機関の使命は医学教育と医学研究であり、またその研究は実地の医療に活かすことで完成する。**」との理念の下、卒業生が医人として「**救世仁術**」の域に達することを念じて、昭和2年に開設され、昭和27年には大阪医科大学となり、現在に至っています。大阪医科大学では、吉津度の唱えた『**医療機関の使命は医学教育と医学研究であり、またその研究は実地の医療に活かすことで完成する。**』を建学の精神としています。

大阪薬科大学の前身となる大阪道修薬学校は、薬業界の創始期にあった明治37年に、薬種商、売薬業者、製薬業者の社員に広く薬学学修の機会を与えるという使命を担って建学されました。その後我が国最初の女子薬専となる帝国

女子薬学専門学校へと引き継がれ、昭和25年には男女共学の大阪薬科大学となり現在に至っています。こうした歴史と伝統を受け継ぎ大阪薬科大学は、『**自助自立した精神を涵養し、深く薬学の知識を授けることにより、豊かな人間性を備えた薬剤師・薬学人を養成し、もって人類の福祉と文化の向上に寄与する**』ことを建学の精神としています。

大阪医科薬科大学の設立に当たっては、この双方の建学の精神を受け継ぎながら、『**医療人育成機関の使命は、教育と研究であり、またこれらは医療の実践に活かすことで達成される**』を建学の精神と定め、医薬看を持つ医療系総合大学として、広く医療人の育成を使命とすることとし、教育と研究双方の実践、臨床現場における実務教育の充実、多職種連携教育の強化を目指すこととしています。

## 大阪医科薬科大学(仮称)学是

### 至誠仁術

至誠とは孟子の「**至誠にして動かざる者は、未だ之れ有らざるなり**」に由来しています。

「**至誠仁術**」には「**誠実**」、「**医学・薬学・看護学教育**」、「**医学・薬学・看護学研究**」、「**実地医療**」、「**国際化**」といった5つのキーワードが込められています。

吉津度の唱える「**救世仁術**」における「**救世**」は、豊かな人間性に基づくもので、人格として最高の表現とされる

「**integrity(誠実性)**」に共通すると考えられます。この「**integrity**」の持つ崇高な人間性は、孟子の「**是の故に誠は、天の道なり。誠を思うは、人の道なり。至誠にして動かざる者、未だ之れ有らず。誠あらざれば、未だ能く動かす者有らず。**」における「**至誠**」に相当、或いは共通すると考えられます。

## 国際交流

タイのシーナカリンウィロート大学から留学生が2名来ました。本学での滞在期間は2019年6月17日(月)～7月26日(金)です。製剤設計学研究室と生体分析学研究室に1名ずつ配属されました。

このほか、国際交流基金助成事業として学部学生及び大学院学生の国際学会での発表、学部学生の語学留学や海外研修などの費用を対象に助成を行っております。

昨年度は、大学の紹介旅行として、8月にバンクーバーへ医療英語レッスン&医療施設見学、3月にオーストラリアへ薬学語学研修などを実施し今年度も予定しています。

制度の概要や過去に助成を受けた学生の報告書をホームページに掲載していますので、申請を考えている方はご覧ください。助成を受けるためには、国際交流委員会での審査を経て、採択されれば助成金が支給されます。

【詳細は本学HP】HOME > 教育・研究 > 国際交流

(<https://www.oups.ac.jp/life/international/index.html>)



留学生とランチの集い(令和元年6月20日)

## 新入生ガイダンス

2019年4月4日(木)に「新入生ガイダンス」を実施しました。午前は教務部、キャリアサポート部、図書館からの説明や諸注意がありました。午後は学生部より、学生生活全般の諸注意の他、学生相談室による講演、悪徳商法関係講演、カルト関係講演、防犯関係講演、SNSに関する講演を開催しました。



## 新入生交流・導入教育について

新入生が大学の学びにスムーズに移れることを目的として、毎年6月下旬までの期間にアドバイザー単位で「新入生交流・導入教育」を実施しています。アドバイザー単位での実施となり、企画は各アドバイザーに任せられており、充実した様々なプランが立てられ実行されました。

主な企画内容は「会食」が多く、その他に「美術館見学」「京都観光」「野球観戦」など、楽しく食事をしたり、施設を見学したりしながら、これからの大学生活や学習方法などについてアドバイザーからアドバイスを受け、新入生同士の交流が図られました。

## 薬大ガーデンキッチン

今年も五月祭の日(2019年5月10日(金))にキッチンカーの出店をお願いいたしました。今回は、店舗数を増やし、ステーキ、クレープ、たこ焼き、カフェ、ピザ、ケバブのバラエティに富んだ6店舗の出店がありました。当日は、天気も良く、大勢の学生に利用いただき、キャンパス内が活気に溢れ、大変好評でした。



## 五月祭(新入生歓迎会)が開催されました

恒例の五月祭(学友会主催)が2019年5月10日(金)に体育館で開催されました。

第1部では、軽音楽部、フォークソング部、コーラス部、アンサンブルサークルによる演奏・発表や、ダンス部によるステージ、アドバイザー単位でのクイズ大会などがあり、第2部では全学年でのビンゴ大会が行われました。今年は、旅行券など、豪華な景品が用意され、大いに盛り上がりました。

学生間はもちろん、教職員との交流を深める良い機会となりました。



## 大薬祭「harmony」が開催されます

本年度の大薬祭は、「harmony」をテーマに、2019年11月2日(土)～11月3日(日)の日程で開催されます。昨年は野外ステージにてアーティストライブとして、「嘘とカメレオン」「NoisyCell」「Have a Nice Day!」「DJライブキッズあるある中の人」、お笑いライブとして、「アキナ」「アインシュタイン」「祇園」が出演し、大いに盛り上がりました。新元号になり初めての学祭であるため、新しいことにも取り組みたいと大薬祭実行委員が一丸となって頑張っています。楽しい企画にご期待ください。

## 2019年度 学友会執行委員会

執行委員長	小田 明奈
副執行委員長	金 憲成
総務局長	友次 一真
会計部長	藤田 真有子
厚生局長	尹 美月
文化局長	北川 星来
体育局長	川根 克哉
広報渉外局長	鍵田 拓弥

## 2019年度 大薬祭実行委員会

大薬祭実行委員長	石原 理沙
大薬祭副実行委員長	中川 憂飛
総務部長	友次 一真
イベント部長	村井 愛
リサイクル部長	北条 賢太郎
渉外部長	橋本 歩美
渉内部長	大家 星利奈
装飾部長	森田 笑未

## 2018年度学生表彰を行いました

2019年3月8日(金)、学位記授与式後に2018年度学生表彰を行いました。大阪薬科大学学生表彰規程に基づき、学術研究活動、課外活動等において功績があった学生や学生団体に対し、錦野学生課課長から、各表彰者の業績及び選考の経緯等が説明され、政田学長から表彰状の授与並びに記念品が手渡されました。



## 2018年度 学生表彰者一覧

### ■規程第2条第1号(学術研究活動において、特に顕著な業績を挙げた学生又は学生団体)

学年	所属・団体	名前	業績
5	製剤設計学	栗原 実沙	粉体工学会2018年度秋期研究発表会 ベストポスター賞
6	製剤設計学	君波 奈緒	日本食品化学学会 第24回学術大会 若手優秀発表賞
6	製剤設計学	片山 琴愛	日本海水学会第69年会 学生優秀賞
D1	製剤設計学	野上 聡	The 2nd Workshop for Japan-Korea Young Scientists on Pharmaceuticals 優秀賞

### ■規程第2条第2号(課外活動において特に優秀な成績を修めた学生又は学生団体)

学年	所属・団体	名前	業績
1	陸上部	小助川 直樹	関西薬学生対抗陸上競技大会 砲丸投1位等
2	陸上部	奥田 剛充	関西薬学生対抗陸上競技大会 やり投1位等
2	陸上部	岡島 遥奈	関西薬学生対抗陸上競技大会 やり投1位等
2	剣道部	森 皓生	第72回関西薬学生連盟剣道大会 3位
2	陸上部	友次 一真	全国薬学生対抗陸上競技大会 男子400m1位等
3	弓道部	東野 いずみ	第35回関西医歯薬学部学生弓道大会 女子個人戦 準優勝
3	陸上部	松本 功一	関西薬学生対抗陸上競技大会 走幅跳1位等
3	弓道部	乾 和正	第16回大阪医歯薬学部学生弓道大会 男子個人戦 3位
4	サッカー部	田邊 蘭太	2018年度関西医療系サッカーリーグ1部 優秀選手賞
5	サッカー部	萱原 翔太	2018年度関西医療系サッカーリーグ1部 優秀選手賞
	バドミントン部		第45回近畿医歯薬バドミントン大会 女子団体優勝
	陸上部		全国薬学生対抗陸上競技大会 男子フィールドの部 優勝等

### ■規程第2条第4号(その他前各号と同等以上の功績等により、表彰に値すると認められる学生又は学生団体)

学年	所属・団体	名前	業績
5	—	吉田 舞衣	日本薬学会第138年会 English café 活動を利用した「訪日外国人の日本における薬局利用の実態」ポスター発表/ 2018年度大薬祭学内スピーチコンテスト 優勝



## 学生相談室だより

### 怒りを感じたら思いを伝えてみる

学生相談室 相談員 小田 佳子

怒りはだれでももつ感情です。しかし、怒りの感情をいけないものとして、気づかないようにしたり、我慢したり、表現することをためらったりしてないでしょうか。怒りの感情を表現して解消することはとても大切ですし、よりよい表現の仕方を身に付けたいものです。

怒りの感情は、「相手を責める」、「怒鳴る」というような激しいものから、「腹が立つ」、「いら立つ」という程度のもので、強さによって表れ方が違います。出来事や人に対して、「嫌だ」とか、「違う」とか、「やめてほしい」といった不快感を抱いた時に沸き起こってきます。激しい怒りの感情をそのまま言葉や態度で表すと、人から嫌がられたり、相手も感情的になってしまったりして、人間関係がぎくしゃくしてしまいます。しかし、怒りの感情を感じてはいけないものと否定したり、抑え込んだりしてばかりいると、逆に自分を責めることになってしまったり、何も感じられなくなったり、突然爆発してしまったりすることもあります。

それでは、人との関係の中で、怒りの感情をどのように扱えばいいのでしょうか。まずは、自分の怒りの感情に気づかないといけません。あまり激しい怒りだと、その場から離れたら、10秒数えるなど、距離と時間を取って、感情が緩やかになるのを待つ必要があるでしょう。そして、その怒りがどういったものなのかを考えます。自分は何が嫌だと感じているのか、どうしてほしいと思っているのか、怒り以外の気持ちが混ざっていないか整理してみます。それから、自分の思いを言葉にして相手に伝えるのです。

大学生の皆さんにも起こりそうな状況で考えてみましょう。講義ノート友達に貸してあげました。自分はいつも、人から借りたノートは翌日に返すようにしています。友達は5日たっても返してくれず、腹が立ってきました。ここで、貸したノートを速やかに返してくれないということに怒りを感じるのは当然でしょう。しかし、もし、「あの人は全くのんびりしている！」と怒っているのであれば、友達に対してがっかりした気持ちも混ざっているでしょうし、「返してくれないと、私の勉強が遅れる！」と怒っているのであれば、自分の不安な気持ちも混ざっているでしょう。では、どのように伝えるといいのでしょうか。「すぐに返してもらえと思って貸したんだ。もう返してくれるかな。」「勉強が進まなくて困るから、返してほしいんだけど。」というところでしょうか。伝えたいことをわかりやすい言葉で率直に伝え

つつ、相手の言い分にも多少耳を傾けながら、なぜそう思うのかを話します。言いにくければ、「言いにくいことなんだけど」、「気分を悪くさせたらごめんね」といったクッションになるような言葉をはじめに入れるといいでしょう。

ここに書いてみると、簡単なことのように思えてきますが、実行するのは案外難しいと思います。しかし、愚痴や嫌味といった形で怒りが漏れ出してしまうことを思えば、こちらを試すのがいいのではないのでしょうか。

### 学生相談室

本学では、学生相談室を設け、週に3回、カウンセラー（臨床心理士／公認心理師）が相談を受け付け、学生が抱える問題や悩みに対応しています。保護者からの相談も可能です。



小田 佳子



若林 暁子



西田 裕子

#### 受付時間

【毎週月曜日】 12:00-18:00 小田 佳子  
 【毎週火曜日】 12:00-16:00 若林 暁子  
 【毎週金曜日】 14:00-18:00 西田 裕子

#### 問合せ

TEL:072-690-1077(直通)  
 e-mail:counsel@gly.oups.ac.jp

## FD委員会活動報告

本学では、大学教員の教育能力を高めるためにFD委員会を設置し、教育内容・方法等をはじめとする研究や研修を大学全体で組織的に行っています(FD:Faculty Development)。

この一環として、2017年度に本学学生で構成する学生FD委員を選出し、教員によるFD委員と合同会議を実施しました。2018年度も引き続き、2019年3月13日(水)午前11時から

セミナー室B-1において、合同会議を実施しました。教員と授業や教育の改善に関心を持つ学生との間で活発に意見交換が行われ、大学教育における課題をお互いに共有することができました。本学では今後も学生FD委員と連携し、FD活動を継続していきます。

## 2018年度学位授与

[博士]

論文博士

博士(薬科学)論博薬科第77号 林 淳祐  
核酸医薬への応用を目指した糖部  
およびリン酸部修飾プロドラッグ型核酸の合成と機能評価  
(2019年3月9日付)

博士(薬科学)論博薬科第78号 谷田 智嗣  
医薬品開発における分子複合体プラットフォームの設計と  
物性評価に関する研究

(2019年3月9日付)

[修士]

修士(薬科学)

男子3名 女子1名 計4名(2019年3月9日)

[学士]

学士(薬学)

男子116名 女子208名 計324名(2019年3月9日)

学士(薬科学)

男子1名 女子1名 計2名(2019年3月9日)

## 2019年度白衣授与式について

2019年2月15日(金)午前10時より、本学講堂にて病院・薬局実務実習に赴く学生を対象に白衣授与式を開催しました。大学から授与された白衣を身につけ、政田幹夫学長、実務実習実施部会責任者の小森勝也教授(特任)の式辞に耳を傾けていました。



## 2018年度実務実習伝達・報告会について

2019年2月15日(金)午後1時より、2018年度に実務実習を行った学生の「実務実習伝達・報告会」を本学学生ラウンジ及びD棟2階にて行いました。発表では、実務実習で培った知識だけではなく、心構えや実務実習前後の思いの変化などを熱心に説明していました。



## 2018年度大阪薬科大学研究振興基金助成について

2018年度 教育・研究振興基金優秀論文賞は、若手専任教員が本学で行った研究成果の中で、特に優れた研究論文を発表した者を顕彰し、更なる研究活動の発展を支援することを目的としたものです。2018年度は下記の3名が選ばれ、研究助成金が贈呈されました。

氏名	論題	雑誌名
内山 博雅 (製剤設計学研究室 助教)	Jelly containing composite based on $\alpha$ -glucosyl stevia and polyvinylpyrrolidone: Improved dissolution property of curcumin	European Journal of Pharmaceutical Sciences
近藤 直哉 (生体分析学研究室 助教)	Development of matrix metalloproteinase-targeted probes for lung inflammation detection with positron emission tomography.	Scientific Reports
林 淳祐 (機能分子創製化学研究室 助手)	Syntheses of prodrug-type 2' -O-methylthiomethyl oligonucleotides modified at natural four nucleoside residues and their conversions into natural 2' -hydroxy oligonucleotides under reducing condition.	Bioorganic & Medicinal Chemistry

※職位は受賞当時で記載しています。

## 研究助成金採択一覧

(2018年度)

※所属研究室、職位は受賞当時で記載しています。

研究助成機関	採択者	採択テーマ
公益財団法人喫煙科学研究財団	大野 行弘 教授 (薬品作用解析学研究室)	鍾体外路系運動障害の発現調節におけるニコチン受容体の役割
公益財団法人一般医薬品セルフメディケーション振興財団	恩田 光子 教授 (社会薬学・薬局管理学研究室)	薬局薬剤師による個別化された禁煙支援の実践とその効果に関する介入研究
公益財団法人サッポロ生物科学振興財団	門田 和紀 准教授 (製剤設計学研究室)	超高齢社会の多様なニーズに適應したテラーメイド型機能性ゼリー剤の開発
公益財団法人河川財団	東 剛志 助教 (環境分子生理学研究室)	河川環境中に分布する薬剤耐性菌の不活化因子の評価
公益財団法人飯島蔵十郎記念食品科学振興財団	内山 博雅 助教 (製剤設計学研究室)	コメスフィンゴ糖脂質を用いたナノ加工技術の開発と機能性食品への応用
公益財団法人ホソカワ粉体工学振興財団	内山 博雅 助教 (製剤設計学研究室)	コアモルフラス形成に基づいた機能性粉体の開発
公益財団法人武田科学振興財団	近藤 直哉 助教 (生体分析学研究室)	革新的がんセラノスティクスを目指した分子マシンの生体内がん特異的駆動に関する研究
日本杜仲研究会	中川 恵輔 助手 (病態分子薬理学研究室)	杜仲葉エキスの糖尿病性腎症への影響
公益財団法人ホソカワ粉体工学振興財団	謝 晉頤 (大学院学生) (製剤設計学研究室)	肺胞への送達効率向上を目指した吸入粉末剤の設計

(2019年度)

※2019年5月現在

研究助成機関	採択者	採択テーマ
公益財団法人喫煙科学研究財団	大野 行弘 教授 (薬品作用解析学研究室)	鍾体外路系運動障害の発現調節におけるニコチン受容体の役割
公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団	門田 和紀 准教授 (製剤設計学研究室)	塩類添加による機能性ゼリー剤のテクスチャーおよび有効成分放出速度の制御
公益財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構	東 剛志 助教 (環境分子生理学研究室)	臨床領域で対策が求められている薬剤耐性菌の河川環境中における動態
公益財団法人河川財団	東 剛志 助教 (環境分子生理学研究室)	都市部を流れる河川流域を対象にした薬剤耐性菌の特性解析
一般社団法人旗影会	内山 博雅 助教 (製剤設計学研究室)	卵白ペプチドを用いたピッカリングエマルジョンの調製と機能性食品への応用

## 2019年度科研費採択者一覧

(単位:千円)

	氏名	職名	応募種目	研究課題	直接経費	間接経費
新規	天満 敬	教授	基盤研究(B)	CAR-T療法と微小環境標的の内用放射線療法の融合によるがん治療革新研究	2,900	870
	浦田 秀仁	教授	基盤研究(C)	プロドラッグ型siRNAを用いたホモ接合体家族性高コレステロール血症治療薬の開発	1,500	450
	福永 理己郎	教授	基盤研究(C)	がん細胞の翻訳制御におけるMnk経路とmTOR経路のクロストーク機構の解明	1,500	450
	当麻 成人	准教授	基盤研究(C)	高齢者の転倒予防のための新規転倒回避テストの開発	1,400	420
	竹林 裕美子	助教	基盤研究(C)	脂肪幹細胞における薬物輸送解析と腎保護能を有する新規細胞医薬の開発にむけた最適化	1,000	300
	内田 まやこ	講師	若手研究	ベンダムスチン投与患者における皮膚障害の発現因子解明と予防法確立	600	180
	田中 早織	助教	若手研究	小腸上皮細胞の脂肪再合成酵素及びビオン輸送体系に着目した脂質異常症発症機序の解明	1,500	450
	沼水 佐紀	助教	若手研究	過分極作動性HCN1チャンネルを介したてんかん発症の調節メカニズム解析	1,100	330
	近藤 直哉	助教	若手研究	架橋安定化を基盤とするペプチドプローブの動態最適化と高感度イメージング手法の構築	1,100	330
	天満 敬	教授	挑戦的研究(萌芽)	チエレンコフ光エネルギーによる分子マシン駆動と革新的がんセラノスティクスへの挑戦	2,400	720
	大野 行弘	教授	基盤研究(C)	シナプス分泌障害に起因する精神疾患の病態解明	900	270
	戸塚 裕一	教授	基盤研究(C)	機能性有機ナノコンポジット構造の解明とハイブリット化への戦略的構築	1,200	360
	永井 純也	教授	基盤研究(C)	糸球体から漏出したアルブミンに結合する脂肪酸及び薬物の腎原細管移行特性と影響解析	1,100	330
	尾崎 恵一	教授	基盤研究(C)	シグナル伝達病治療標的としてのERK-MAPキナーゼ経路下流因子の探索	800	240
継続	中村 任	教授	基盤研究(C)	プラチナ系抗癌剤の副作用発現とバイオメタル変動との関連解析	1,200	360
	スミス 朋子	教授	基盤研究(C)	薬学系英語教育における授業モデルの構築・専門文献・読解教材の開発と効果の検証	600	180
	平野 智也	教授	基盤研究(C)	生体内分子応答型光分解性保護基を基盤とする中枢神経系の解析・治療システムの構築	1,100	330
	細畑 圭子	准教授	基盤研究(C)	食塩感受性高血圧における慢性腎臓病の早期バイオマーカーの臨床展開と機序解明	1,300	390
	城下 賢一	准教授	基盤研究(C)	ポスト55年体制における圧力団体・農協の政治活動の内在的・總体的把握	900	270
	加藤 隆児	准教授	基盤研究(C)	インフラマソーム反応に着目した特異体質性薬物肝障害の機序解明と評価法の開発	1,000	300
	本橋 秀之	准教授	基盤研究(C)	大規模データを用いた疾患特異的な副作用解析と科学的根拠にもとづく対策法への応用	700	210
	平田 雅彦	講師	基盤研究(C)	ポストFDGを目指した新規放射性薬剤の開発～p38α活性診断薬剤の開発～	1,100	330
	角山 香織	准教授	若手研究	Real world dataを活用した副作用モニタリング支援システムの基盤構築	1,000	300
	藤井 俊裕	助教	若手研究(B)	新規の活性化機序のリン脂質スクランブラーゼの同定と機能解析	800	240
	小池 敦寛	助教	若手研究(B)	TLRシグナルを介した新奇薬物相互作用によるマクロファージ細胞死の分子機構の解明	1,100	330
	倉田 里穂	助教	若手研究(B)	新規ペーチャット病感受性遺伝子TRIM39RにおけるIFN制御機構の解明	1,100	330
	前原 都有子	助教	研究活動スタート支援	プロスタグランジンによる肺機能の制御機構解明と新規治療法の開発	1,100	330
	越智 洋輔	特任研究員	研究活動スタート支援	炎症性副作用を軽減したプロドラッグ型siRNAの開発	1,100	330
				33,100	9,930	

・種目ごとに名簿順に記載しています。

※2019年5月現在



## 2019年度 大阪薬科大学 生涯学習開講プログラム一覧

### ■2019年度 大阪薬科大学公開教育講座

#### [第82回]

開催日	2019年7月21日(日) 13:30~17:00
演題 講師	(1)「腎臓病の患者さんへの処方、考えること。キーワードは“3”」 大阪医科大学 内科学講座内科学 診療准教授 森 龍彦 先生 (2)「腎機能低下患者の薬物適正使用における薬剤師の役割」 熊本大学大学院生命科学研究部 薬学部臨床薬理学分野教授 平田 純生 先生
会場	梅田スカイビルタワーウエスト36階

#### [第83回]

開催日	2019年11月23日(土・祝) 13:30~17:00
演題 講師	「薬学実務実習における取組みと評価のあり方について(仮)」 大阪薬科大学 薬学教育研究センター 准教授 佐藤 卓史 大阪薬科大学 臨床薬学教育研究センター 准教授 角山 香織
会場	新大阪丸ビル別館

### ■2019年度 大阪薬科大学サテライトセミナー

#### [第3回]

開催日	2019年7月28日(日)
研修内容	「医薬品情報の活用 ~RMPを日常業務に活かそう~」
講師	大阪薬科大学 臨床薬学教育研究センター 准教授 角山 香織 他

#### [第4回]

開催日	2019年10月6日(日) =申込受付中=
研修内容	「今一度! 薬物動態の基礎+α」
講師	大阪薬科大学 薬学教育研究センター 教授 宮崎 誠 他

#### [第5回]

開催日	2019年10月27日(日) =申込受付中=
研修内容	「薬剤師が知っておきたい末梢神経障害のエッセンス」
講師	大阪薬科大学 臨床薬学教育研究センター 講師 内田 まよこ 他

#### [各回共通]

開催時間	10:00~14:30(途中休憩あり)
会場	大阪薬科大学 サテライト研修室(旧:三島センター薬局3階)(第3回) 大阪薬科大学 D棟3階セミナー室(第4回・第5回)
受講料	各回 3,000円(昼食代込) ※受講料事前振込
定員	約20名(先着順)
単位	各回 日本薬剤師研修センター 2単位(予定) / 各回 大阪府薬剤師会 5単位(予定)
申込	大阪薬科大学ホームページ( <a href="https://www.oups.ac.jp">https://www.oups.ac.jp</a> )の「サテライトセミナー応募フォーム」からお申し込みください。

### ■薬剤師が実践できる褥瘡治療実技セミナー

開催日	【第1回】2019年9月8日(日)10:00~16:00
講師	愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター センター長 古田 勝経 先生 オレンジ薬局 布施北店 長谷川 雅子 先生
会場	大阪薬科大学 C棟1階 102、103講義室(予定)
受講料	5,000円(昼食代込) ※受講料事前振込
定員	約30名(定員に達しました)
単位	日本薬剤師研修センター 2単位(予定) / 大阪府薬剤師会 5単位(予定)
申込	大阪薬科大学ホームページ( <a href="https://www.oups.ac.jp">https://www.oups.ac.jp</a> )の「薬剤師が実践できる褥瘡治療実技セミナー応募フォーム」からお申し込みください。

### ■2019年度 大阪薬科大学薬剤師のためのフィジカルアセスメントセミナー

#### [ベーシック編]

開催日	【第3回】2019年11月10日(日) =申込受付中=
-----	-----------------------------

#### [アドバンス編]

開催日	【第2回】2019年10月13日(日) =申込受付中= 【第3回】2020年1月12日(日) =申込受付中=
-----	---

#### [各回共通]

開催時間	10:00~13:00
会場	大阪薬科大学 D棟3階セミナー室
受講料	各回 2,000円(本学卒業生を受講料は、1,000円)
定員	約10名(先着順)
単位	日本薬剤師研修センター1単位(予定)
申込	大阪薬科大学ホームページ( <a href="https://www.oups.ac.jp">https://www.oups.ac.jp</a> )の「大阪薬科大学薬剤師のためのフィジカルアセスメントセミナー応募フォーム」からお申し込みください。

### ■無菌調製実技セミナー

開催日	2019年9月29日(日)10:00~16:00
講師	大阪薬科大学 臨床薬学教育研究センター 講師 内田 まよこ
会場	大阪薬科大学 D棟2階 模擬無菌調製室
受講料	5,000円(昼食代込) ※受講料事前振込
定員	8名(定員に達しました)
単位	日本薬剤師研修センター 2単位(予定) / 大阪府薬剤師会 5単位(予定)
申込	大阪薬科大学ホームページ( <a href="https://www.oups.ac.jp">https://www.oups.ac.jp</a> )の「無菌調製実技セミナー応募フォーム」からお申し込みください。

### ■生命医療倫理セミナー:ひとと医療、そして倫理 **NEW**

開催日	2019年9月22日(日)13:00~16:30(休憩含む) =申込受付中=
研修内容	「日本とドイツの赤ちゃんポストと内密出産制度: 医療人の新たな役割と課題」
講師	大阪薬科大学 環境医療学グループ 教授 阪本 恭子
会場	大阪薬科大学 D棟3階セミナー室
受講料	1,000円 ※受講料事前振込
定員	約20名(先着順)
単位	日本薬剤師研修センター 2単位(予定) / 大阪府薬剤師会 5単位(予定)
申込	大阪薬科大学ホームページ( <a href="https://www.oups.ac.jp">https://www.oups.ac.jp</a> )の「生命医療倫理セミナー応募フォーム」からお申し込みください。

### ■サンスター・大阪薬科大学共同セミナー -オーラルフレイルと口腔ケア指導-

開催日	2019年11月24日(日)10:00~16:00 =申込受付中=
講師	サンスター株式会社 大阪薬科大学 臨床薬学教育研究センター 講師 内田 まよこ
会場	関西大学 梅田キャンパス 701号室
受講料	3,000円
定員	約30名(先着順)
単位	日本薬剤師研修センター 3単位(予定) / 大阪府薬剤師会 5単位(予定)
申込	大阪薬科大学ホームページ( <a href="https://www.oups.ac.jp">https://www.oups.ac.jp</a> )からお申し込みください。

## ■オープンキャンパス 報告

春のオープンキャンパス(3月24日(日))に続いて、6月16日(日)にオープンキャンパスを開催しました。諸事情により、時間を短縮して実施いたしましたが、快晴のもと、224組391名の参加者がありました。

「キャンパスツアー」や「在学生による個別相談コーナー」では在学生在が活躍しました。参加者にとっては教職員には聞きにくい「生の声」を気軽に聞くことができ、大変好評でした。そのほかに「入試説明会」、「教員による個別相談コーナー」、「学生トーク」、「オープンラボ(研究室見学)」などのプログラムを実施し、パンフレットでは伝わらない大阪薬科大学の魅力に触れていただきました。アンケート結果では「キャンパスや実習施設がきれい!」、「食堂のランチが美味しかった」などのコメントをいただき、今後のオープンキャンパスに活かしています。

これからも、オープンキャンパスを通じて本学のPRをしていきたいと考えています。

### 入試説明会 進路・就職講座



### 学生トーク!



### 受付・ドリンクコーナー



オープンキャンパスに来場された参加者に資料やドリンクを一人一人丁寧に、笑顔で配ってくれました!

### オープンラボ(研究室見学)



オープンラボ(研究室見学)では、生化学研究室と分子構造化学研究室を見学しました。研究内容の説明、研究機器の説明など、薬学部の研究に触れてもらいました。

## ■夏のオープンキャンパス2019

8月4日(日)・8月18日(日)・10月27日(日)に開催します。

### プログラム

入試説明会、キャンパスツアー、体験イベント、学生トーク!、入試対策講座、教員・在学生による個別相談会(予定)。学生アルバイトも募集いたします。ぜひ、ご応募ください!



## キャリアサポート課だより

### 2018年度

### 就職・進学状況と開催行事の報告

2018年度学部卒業生の進路・就職状況について報告します。本学の学部学生(6年制)の就職・進学状況は今年も堅調に推移しており、5月1日時点での就職・進学率は92.6%となりました。2018年度卒業生のうち進路が決定した299名の内訳としては、企業18.4%、病院(研修生を含む含む)22.4%、薬局51.8%、公務員7.0%、大学院進学0.3%でした。学生の進路希望傾向は年度ごとに若干異なりますが、前年度に比べて企業と公務員への内定が増加傾向にあります。

### 2018年度就職・進学状況

(2019年5月1日)

業種	人数(名)	割合	確定者の内訳
企業	55	17.0%	18.4%
病院	67	20.7%	22.4%
薬局	155	48.0%	51.8%
公務員	21	6.5%	7.0%
進学	1	0.3%	0.3%
<b>(進路確定者合計)</b>	<b>299</b>	<b>92.6%</b>	<b>100.0%</b>
未確定	6	1.9%	(299名)
内定取消・辞退	18	5.6%	
合計	323	100.0%	

※就職を希望しない2名を除いています。  
 ※病院には病院研修生1名を含めています。  
 ※内定取消・内定辞退は国試結果によるものです。

### 学内合同説明会報告

3月2日(土)、求人や職種に関する情報提供を目的とした学内合同説明会(全学年対象)を午前の部と午後の部に分けて開催しました。

これまでは業種を分けて2日の開催としてきましたが、今回は参加学生が幅広く業種・職種の比較や情報収集しやすい環境となるよう一日で開催する形式に見直しました。当日は就活学生が採用担当者から求人情報、及び仕事内容、どのような働き方をしているのか等の最新情報を得るまたとない機会として、また、低年次の学生は様々な職種を知る機会として多くの学生が参加して大変盛況でした。

出展数 143(企業37・病院45・薬局50・公務員他11)  
 参加学生数 約330名



学内合同説明会風景

### キャリア支援について

2020年卒を対象とした就職活動も佳境に入ってきましたが、企業や薬局はもちろん、最近では病院からの求人や選考時期も早期化されてきています。いずれの進路を目指すにせよ、5年次には実務実習などがあり、就職のことを考える時間が限られますので、早目に事前準備に取り掛かることが大切です。

5月実施のキャリア支援では、学生が広い視野を持って自分の将来を考えられるよう、主に5年次生を対象として病院・薬局以外にも薬学生を求める企業が多数あることを伝える講座や、薬業関連企業の業種・職種理解を深めることに重点を置いたセミナーを開催しました。

今後も学生の多様な希望進路に応じられるよう多人数向け、少人数向け、個人向けの各種企画や支援プログラムを実施していきたいと考えています。

### キャリアサポート課からのお知らせ

キャリアサポート課からのガイダンス開催案内は主に学生ポータルサイトからのメール通知やキャリアサポート課前掲示板にて告知しています。実施案内を見逃すことなく確認し、学業に差し障りのない範囲で参加しましょう。

クローズアップ  
**YAKUDAI**



# "I want to eat pancakes" in さかい珈琲

最近、「パンケーキ食べたい」「パンケーキ食べたい」というネタが流行りましたね。それに便乗するわけではないのですが、おいしい!と評判の「さかい珈琲」のパンケーキを「パンケーキ食べ隊」がレポートしました。



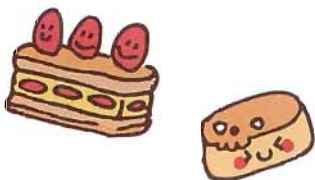
大学から一番近いカフェなので、本学学生の利用者も多いようです。



お店の中はシックな色使いで落ち着く雰囲気。中庭の緑に癒やされます。

今回いただいたパンケーキは「ストロベリーとベリー」と「ドライオレンジとチョコバナナ」の2種類。ふわっふわなパンケーキにスペシャルなトッピング。見た目だけでもテンションが上がります。どちらも甘さは控えめで、「ストロベリーとベリー」はベリーたちの甘酸っぱさとクリームのがんさがほどよくマッチ。「ドライオレンジとチョコバナナ」はバナナチップとドライオレンジのハードさがアクセントになっていて、チョコバナナとの相性が抜群です。メニューが豊富なので、いろんな種類を友達とシェアして食べるのがオススメです。

さあ、  
どっちから  
食べようかなあ





## Homemade Pan Cake 手作りパンケーキ 12:00~19:30

ご注文を頂いてからメレンゲと生地を合わせて焼いています。  
ふわふわの生地ととろとろのクリームをお楽しみください。  
ドリンクセットは100円引きになります。



パンケーキはたくさん種類があります

夏限定メニューも展開



今回は特別にキッチンにお邪魔することができました。  
パンケーキは注文が入ってからメレンゲと生地を  
合わせて焼き上げるので、ふわふわなパンケーキを提供  
できるとのこと。このホットプレートは一般のものとは  
違い銅板でできているので、ムラなく焼けるそうです。  
このように手をかけて作られるパンケーキは、月に  
1,100食くらい出るのだとか。特に人気のあるパン  
ケーキメニューは、カソナードバター、ストロベリーバ  
リーだそうです。

折角なので、ティラミスとパフェもいただきちゃいま  
した!

キッチンに潜入してパンケーキを焼いている現場を直撃  
特製のホットプレートで片面5分ずつ焼きます



さかい珈琲さん、  
お忙しい中、  
ご協力ありがとうございました。



デザート人気No1のティラミス



カロリー控えめなパンケーキパフェ (CHOCO)



パンケーキだけでなく他のメニューも充実。モーニングもやってます。休講で隙間の時間ができた時などにぜひ! 勉強や実  
習で疲れた時、おいしい珈琲とデザートでホッと一息つきませんか。

キッズ・パーティールーム

## さかい珈琲 高槻店

大阪府高槻市奈佐原 2-11-23

Tel 072-648-4088

営業時間 7:00~21:00 年中無休

※ご予約を承ります。

(土日祝 11:00 ~ 14:30 は除く)

※キッズ・パーティールーム有ります。



# がっつき たかつき

Takatsuki  
News

大学のある  
高槻はこんなところ

魅力が  
いっぱい!

高槻のええところ  
見せます 魅せます



## さんがまき 『三箇牧トマト』にがっつきました

高槻市の特産物って何だろう?と考えたとき、皆さんは何が思い浮かぶでしょうか?南北に長い高槻市には、図のとおりトマトやシロウリなど、たくさんの特産物があります。これらの特産物の中でも「服部しろり」「三箇牧トマト」「高槻産しいたけ」「梶原特産たけの子」の4品は「大阪ミュージアム構想」に登録されており、高槻市は大阪府とともにその普及に取り組む、より魅力的な街づくりを目指しています。今回はこの中からいちばん皆さんに馴染みがある野菜ということで、トマトにがっついてみました。おいしい!美肌になる!となると、女子は特に見逃せませんね!

今回は高槻市南部に位置する三箇牧地区でトマト農園を営んでいらっしゃる「寺本農園」の三代目寺本豊さんにご協力いただきました。

お忙しい中、ありがとうございました。



寺本農園さん



直売所には新鮮なトマトが並びます



裏手に広がるビニールハウス



【ハウスの中】  
こちらは間もなく収穫終了で、7月上旬から苗作りに入り、お盆あたりから植え付けが始まるとのこと

高槻市のトマト栽培は、上図でもわかるように梶田・三箇牧地区で行われていますが、梶田地区のトマトは抑制露地栽培なのに対し、三箇牧地区のトマトはハウス栽培になります。

取材協力:寺本農園

場所 高槻市唐崎南1-3-3 第2・4火曜日定休日

URL:<https://teramotomato.jp/>



## 三箇牧トマトの特徴

三箇牧トマトの特徴は、酸味と甘みのバランスが絶妙で、味が濃いことです。トマト嫌いな小さな子でもこれなら大丈夫かも！そのまま食べるのが一番ですが、焼いて食べてももちろん美味しい！



## 三箇牧トマト栽培の歴史

- 昭和20年頃 淀川流域の水はけの良い砂質土壌を活用してトマトのハウス栽培が始まる
- 昭和53年 「三箇牧トマト部会」設立  
部会で統一したブランド「光玉」ができる

現在は寺本農園さんを含めた5件のトマト農家さんが三箇牧地区でハウス栽培を行っています。ハウスの中では、うねを立てない平うねで有機質肥料にこだわった栽培を行い、灌水を制御して(水を少なくすることで甘みが増すそうです)、高糖度トマトを生産しています。

部会で統一したブランド名「光玉」で出荷されていますが、糖度8以上のものは「濃縮トマト」として出荷されています。「濃縮トマト」はいわゆるフルーツトマトの先駆的なものになります。「濃縮トマト」の他にも寺本農園さんではオリジナルブランド「スタンダード」「ふれみあむ」「特撰」などの種類があります。



これから赤くなるのかな



おいしょ〜



もぎたて「ぶちぶよ」をいただきました  
ぶぶよ弾力があります

寺本農園さんの創始者である寺本さんの祖父は、最初からトマトを栽培していたわけではなく、はじめはいろいろな野菜を作っていたそうです。その中で「誰もができないことをやらないといけない」ということで、「オンリーワン」「ナンバーワン」を目指して、敢えて難しいトマト栽培に取り組んだとのこと。そんな熱い想いで繋がれて来た寺本農園さんのトマト栽培、現在では3〜4品種のトマトを生産しているとのこと。

去年は、高槻市でも大阪北部地震、大雨、2個の台風による大きな被害がありました。寺本農園さんに被害はなかったのか伺ったところ、台風の影響でハウスの一部が被害をうけ、今も修復中とのこと。1日も早い復旧をお祈りいたします。



どれにしようかな



こんなに買った

## 2 三箇牧トマトを使用したお菓子を発見

三箇牧トマトを使用して作られているお菓子を発見しました！その名も「トマトおからかりんとう」(製造:社会福祉法人 花の会)。こちらのお菓子は「たかつき土産」に認定されていて、その証としてパッケージには高槻市のマスコットキャラクターのはにたんのシールが貼ってあり、「三箇牧トマト使用」と表記があります。

【味はどうか？】

食べはじめはトマト感がないのですが、終わりの方でほんのり甘酸っぱいトマトの風味が口の中に広がって、食べ終わってからも続きます。日本茶にもコーヒにも合いそうです。

高槻発の三箇牧トマトとトマトおからかりんとう。日本中を席卷するくらい広がってほしいな。



「たかつき土産」に認定された「トマトおからかりんとう」は、JR高槻駅西側の芥川商店街にある「こずもす」さんで購入ができます。

## 3 三箇牧トマトを使用したレシピ

高槻市ホームページでレシピを公開中です。  
(URL:<http://www.city.takatsuki.osaka.jp/>)  
ぜひ試してみてください！



(「高槻市ホームページ」より)

高槻発のトマトで  
目指すは日本制覇！  
いや、世界制覇！！





## クラブ活動と私

## 部活動で得た「心」

## 陸上競技部

4年次生 松本 功一

私は大阪薬科大学陸上競技部に所属しています。現在陸上競技部は月・金・土曜日の週3日活動を行い全国薬学生対抗陸上競技大会(薬連)での団体の部総合優勝をチームの目標に掲げ日々練習に取り組んでいます。私は、大学での学業を通じて薬学の知識を身につけるのはもちろんのこと、部活動を通じて今後社会に出て生きていく上で大切なものを身につけたいと考えていました。私がクラブ活動を通じて身につけたものは「あらゆる環境で最大限努力する心」です。大阪薬科大学のグラウンドには、陸上部の練習に必要なトラック・砂場等の環境がほとんど備わっていません。入学当初は練習環境のせいにして、部活動にそれほど熱心に取り組むことが出来ず、他の部員達と共に「どうせこの大学じゃ勝てない」と惰性で練習しているような状況でした。

しかし、ある日、中学生時代の同級生達と食事をする機会があり、数人の友人達から私と同じように「練習場所がない」や「学業や実習で練習時間が足りない」「指導者がいない」など、置かれている環境の事で悩みを持っていると打ち明けられた事がありました。誰でも環境に対する悩みはあるのだなと思いましたが、会話を続けていくうちに友人達と私の間に決定的な違いがあることに気がきました。友人達は、私と違って環境と前向きに向き合い努力することだけを考え、またインカレなどの大きな舞台での成果も残していました。その時、私は環境のせいにして努力から逃げただけなのだ痛感したのです。その日から私は心を入れ替え、学内の坂道を活用するなど今ある環境で何が出来るのかを考え直し、他の部員達と練習に取り組むようになりました。その結果、全国の薬連(前年度)で出場していた個人種目で優勝する事ができ、団体の部でも総合2位という成績を残すことが出来たのです。

置かれた環境で最大限の努力を出来ることの大切さは、部活動だけでなく学業にもあてはまります。例えば「家が遠く通学に時間がかかるため勉強する時間がない」などの自分が置かれた環境を理由に努力から逃げる事は簡単で私もそうしたくなる気持ちに共感できます。ですが、それでは決して良い成果(成績)には繋がりません。どんな困難な環境に置かれようとも、前向きにその環境と向き合うことが試合や学業での成果に繋がるのだと、この4年間の学生生活で学ぶことが出来ました。

最後になりますが、担当教員や友人達からの支援により様々な面で成長させていただいており、日々感謝しながら学生生活を過ごしています。しかし、私より知識・人間力とにもはるかに優れている友人やOBの方を見るたびにまだまだ成長しなければいけないと常日頃感じています。今後も、薬学生の本分である学業は言うまでもなく部活動にも全力で取り組み、知識・人間力を兼ね備えた薬剤師になれるよう精進していきたいと思えます。





## 人事

### 退職(2019年3月31日付)

教授	春沢 信哉(定年)
教授	荒川 行生(定年)
教授	楠瀬 健昭(定年)
教授	林 哲也(定年)
教授(嘱託)	島本 史夫
教授(特任)	小森 勝也(定年)
総務課主任	藤田 梨誇

### 採用(2019年4月1日付)

教授	駒野 淳
教授	平野 智也
准教授	本橋 秀之
助手	音窪 麻衣
特任研究員	孫 紅昕
契約職員 臨床教育・研究支援課	五十川 潤子
契約職員 図書・情報課	楠 亜希子
契約職員 図書・情報課	小林 真紀
契約職員 学生課	金堂 依子
契約職員 入試課	坂本 恵
契約職員 図書・情報課	蝶野 由加里
契約職員 経理課	富永 治代
契約職員 総務課	中川 直美
契約職員 図書・情報課	成田 武史
契約職員 施設課	松本 亜有美
契約職員 キャリアサポート課	吉池 美智代

### 採用(2019年4月8日付)

臨時教育補助教員	今野 秀樹
----------	-------

### 採用(2019年6月1日付)

助教	國澤 直史
----	-------

### 再雇用(2019年4月1日付)

教授	楠瀬 健昭
教授	林 哲也
教授(特任)	小森 勝也
教授(特任)	脇條 康哲

### 昇任(2019年4月1日付)

教授	宇佐美 吉英
助教	林 淳祐

### 配置換え(2019年5月1日付)

総務課係長から教務課係長	中角 有希
キャリアサポート課主任から入試課主任	吉野 誠一
入試課事務職員から経理課事務職員	庄門 大樹

### 出向を解く(2019年3月31日付)

一般社団法人三島薬学教育センター	小牧 優(総務課課長補佐)
------------------	---------------

### 大阪医科大学との人事交流(2019年4月1日付)

大阪医科大学附属病院看護部から大阪薬科大学健康管理支援室へ異動	保健師 吉岡 愛莉
---------------------------------	-----------

### 併任(2019年4月1日付)

教務部長	永井 純也(教授)
学生部長	大野 行弘(教授)
図書館長	浦田 秀仁(教授)
大学院博士後期課程・博士課程指導教員	駒野 淳(教授)
大学院博士後期課程・博士課程指導教員	平野 智也(教授)
大学院博士後期課程・博士課程指導教員	本橋 秀之(准教授)
大学院博士前期課程担当教員	林 淳祐(助教)

### 併任(2019年5月1日付)

大学院博士前期課程担当教員	前原 都有子(助教)
---------------	------------

### 併任(2019年6月1日付)

大学院博士前期課程担当教員	國澤 直史(助教)
---------------	-----------

### 兼務(2019年5月1日付)

総務課係長	中角 有希(教務課係長)
-------	--------------

### 委嘱(2019年4月1日付)

研究委員長	中村 任(教授)
薬用植物園長	谷口 雅彦(教授)
共同研究センター長	戸塚 裕一(教授)
生涯学習センター長	中村 敏明(教授)
アドミッション・オフィス長	浦田 秀仁(教授)
IR室長	宮崎 誠(教授)
産学連携推進室長	戸塚 裕一(教授)
安全管理者	谷口 雅彦(教授)
校医及び産業医	柚木 孝仁(非常勤)
学生相談室顧問	米田 博(非常勤)
学生相談室相談員	小田 佳子(非常勤)
学生相談室相談員	西田 裕子(非常勤)
学生相談室相談員	若林 暁子(非常勤)

### 委嘱(2019年5月20日付)

教育専門事務職員(e-manager)	前野 真徳(教務課係長)
---------------------	--------------

### 委嘱(2019年6月1日付)

衛生管理者	吉岡 愛莉 (健康管理支援室保健師)
メンタルヘルス推進担当者	吉岡 愛莉 (健康管理支援室保健師)

### 委嘱を解く(2019年5月31日付)

衛生管理者	重里 真季 (健康管理支援室保健師)
メンタルヘルス推進担当者	重里 真季 (健康管理支援室保健師)

### 招へい教授(2019年3月1日付)

上里 新一
-------

### 招へい教授(2019年4月1日付)

田伏 克惇
-------

野口 正弘
-------

橋田 亨
------

### 招へい教授(2019年5月1日付)

中張 隆司
-------

### 客員研究員(2019年3月1日付)

上里 新一
-------

### 客員研究員(2019年4月1日付)

荒川 行生
-------

加藤 和明
-------

金星 匡人
-------

阪本 英二
-------

島本 史夫
-------

田伏 克惇
-------

野口 正弘
-------

橋田 亨
------

春沢 信哉
-------

藤田 芳一
-------

松島 哲久
-------

### 客員研究員(2019年5月1日付)

高木 陽子
-------

田和 正志
-------

中張 隆司
-------

### 客員研究員(2019年6月1日付)

倉田 貴子
-------

内藤 雅人
-------



## 新任挨拶

健康管理支援室 保健師

吉岡 愛莉

この度、2019年4月1日付で大阪薬科大学健康管理支援室に着任いたしました吉岡愛莉と申します。大阪医科大学附属病院の整形外科に4年間看護師として勤め、青年期～成人期における健康管理に興味をもち異動の運びとなりました。病院業務とは異なる内容に戸惑いもありますが皆様の健康維持・増進に少しでも貢献できるよう邁進してまいりますのでよろしくお願い致します。



感染制御学教室 教授

駒野 淳

本年4月1日付にて感染制御学教室を担当することになりました駒野淳と申します。皆様方にこの場を借りてご挨拶申し上げます。2018年度に抗菌薬適正使用加算が新設され、医療現場で薬剤師のプレゼンスがより求められるようになりました。小職は感染症を中心に行政研究組織や医療現場で研鑽を積んで参りました。この経験を生かして学生教育・研究に全力を尽くす所存です。今後ともご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



医薬分子化学研究室 教授

平野 智也

2019年4月1日付で医薬分子化学研究室に着任しました平野智也と申します。これまで、東京大学大学院薬学系研究科で博士の学位を取得後、カリフォルニア大学サンフランシスコ校での博士研究員を経て、東京医科歯科大学生体材料工学研究所に助教、准教授として勤務してきました。その間、蛍光センサーなどの光機能性分子、ヒストン修飾酵素阻害剤などの医薬品候補化合物の開発を行ってきました。本学においては、光を利用した医療に用いる分子なども含めた、様々な分子の開発研究を行うとともに、医薬品の作用を分子レベルで理解するための教育を行っていきたくと考えています。よろしくお願い致します。



薬剤学研究室 准教授

本橋 秀之

本年4月1日より薬剤学研究室の准教授を拝命いたしました。紙面をもちまして、皆様にご挨拶申し上げます。わたしは大学院生の頃から京都大学医学部附属病院薬剤部にて臨床薬物動態学・医療薬剤学の研究に従事してきました。その後、2011年より京都薬科大学の臨床薬学教育研究センターで事前実習や実務実習に関わりながら医療機関との臨床研究を進めてきました。大阪薬科大学でも薬剤学・薬物動態学の教育・研究に邁進して参りますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



臨床薬学教育研究センター 助手

音窪 麻衣

臨床薬学教育研究センター助手として採用されました。私は2007年に本学を卒業し、病院や行政機関に勤務し、主に治験・臨床研究に携わって参りました。まさか自分の母校に戻ってこれる日がくるとは思っておらず、感慨深く思っております。卒業12年で馴染みの先生方も、薬剤師を取り巻く状況も変わりましたが、大学統合を始め本学も変化していると感じます。変化をしなければ安定しないと常々思っており、伝統ある「大薬」がこれからも安心して教育・研究を行う場所となる一助となるよう尽力いたします。



薬品作用解析学研究室 助教

國澤 直史

2019年6月1日付で薬品作用解析学研究室の助教として着任いたしました國澤直史と申します。私は、平成30年3月に大阪薬科大学大学院博士課程を修了後、製薬企業の研究員として約1年間勤務しました。卒業から6年目で、国家試験勉強の大変さや苦勞も経験しているので、学生の皆さんと比較的近い立場からアドバイスやサポートができるのではないかと思います。本学の教育や研究の発展に貢献できるよう努めて参りますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



## 第7回大阪薬科大学学術講演会 in 東京を開催

大阪薬科大学と大阪薬科大学同窓会の共催により、「第7回大阪薬科大学学術講演会 in 東京」を開催しました。東京近郊で活躍されている本学同窓生や本学関係者に多数ご参加いただき、大変活発で有意義な講演会となりました。また、講演後には、演者、座長、参加者を交えた懇親会を開催し、和やかな雰囲気の中、無事終了することができました。

開催日	2019年2月17日(日)14:00~17:00
場所	第一ホテル東京
主催	大阪薬科大学、大阪薬科大学同窓会
後援	公益社団法人日本薬剤師会
内容	招待講演(14:30~15:30) 「多職種連携の時代—薬剤師への期待」 イムズ東京葛飾総合病院 外科部長 大阪医科大学 仁泉会 東京支部 支部長 岩崎 善毅 氏 特別講演(15:30~16:30) 「超高齢社会における薬剤師業務とリスクマネジメント」 大阪薬科大学 臨床薬学教育センター 教授 中村 敏明



## 高槻市主催「けやきの森市民大学」へ講座提供

2019年2月19日(火)、2月26日(火)、3月5日(火)の3日間、高槻市主催にて開催された「けやきの森市民大学」に対し、本学から「大阪薬科大学公開講座」として講座提供しました。「もっと知りたい漢方薬の世界」をテーマとして芝野准教授が講義を行い、各回約50名の参加がありました。

## 退職記念講義を開催

2019年度で退職された荒川教授(臨床実践薬学研究室)、島本教授(薬物治療学Ⅱ研究室)、春沢教授(有機薬化学研究室)の退職記念講義を2019年3月27日(水)に開催しました。講義の後に、研究室の学生から花束の贈呈があり、和やかな退職記念講義となりました。



荒川教授  
「退職のご挨拶」



島本教授  
「粘液一路 道草寄道  
～大学生生活46年を振り返って～」



春沢教授  
「日本初の女子薬専設立者、秋山卓爾先生  
—ご家族との出会い—」

## 本学の社会貢献活動

— 市民講座委員会からの実施報告及び今後の開催案内 —

### 実施報告

第47回市民講座を以下の通り開催しました。

開催日	2019年6月1日(土)13:00~15:50
テーマ	子どもを健常な大人へ育てる地域社会のために —小児科医療、子育て・孫育て、防災の観点から考える—
演題 講師	(1)「ピンチはチャンス 子、孫、親の命をどう守る？」 NPO法人孫育て・ニッポン理事長 NPO法人ファザーリング・ジャパン理事 樟田 明子 氏 (2)「子どもを健常な大人へ育てるために ～小児医療の場で思うこと～」 阿武山こどもクリニック 内分泌担当医 小西 和孝 氏
会場	大阪薬科大学 C105講義室



### 開催案内

高槻市社会貢献事業として、  
夏休み子ども大学を以下の通り開催します。

開催日	2019年8月3日(土)9:00~12:15
テーマ	薬剤師さんに変身！—こども薬剤師体験—
講師	大阪薬科大学 製剤設計学研究室 教授 戸塚 裕一 大阪薬科大学 臨床薬学教育研究センター 教授 岩永 一範 大阪薬科大学 臨床薬学教育研究センター 教授(特任) 金 美恵子 大阪薬科大学 循環病態治療学研究室 准教授 加藤 隆児 大阪薬科大学 三大学医工薬連携科学教育研究機構 准教授(特任) 銭田 晃一 大阪薬科大学 臨床薬学教育研究センター 講師 内田 まよこ 大阪薬科大学 臨床薬学教育研究センター 助教 羽田 理恵
会場	大阪薬科大学 D棟2階模擬調剤室等

第48回市民講座を以下の通り開催します。

開催日	2019年9月14日(土)13:00~15:50
テーマ	目を大切に！子どもから大人まで —身近な眼の病気とお薬について—
演題 講師	(1)「全身疾患と眼 ～目は体の鏡です～」 高槻赤十字病院 眼科部長 植木 麻理 氏 (2)「目薬を正しく使って健やかな瞳に」 参天製薬株式会社 研究開発本部 製品研究統括部 分析・合成化学グループ グループマネージャー 池井 辰夫 氏
会場	大阪薬科大学 C105講義室

## ■退職記念パーティーを開催

2018年度で退職された教職員の退職記念パーティーを2019年3月27日(水)に開催しました。

濱岡純治副理事長、政田幹夫学長をはじめ多数の教職員が出席し、退職される先生の新しい門出を祝いました。長きにわたり本学の発展に寄与された皆さまのご功績に、教職員一同、心より敬意を表しますとともに、改めてお礼を申し上げます。

退職された教職員 荒川行生教授(臨床実践薬学研究室)  
島本史夫教授(薬物治療学Ⅱ研究室)  
春沢信哉教授(有機薬化学研究室)  
藤田梨誇主任(総務課)



## ■2018年度学位記授与式を挙行

2018年度大阪薬科大学学位記授与式を、2019年3月9日(土)午前10時30分より本学体育館にて挙行了しました。学部卒業生326名、大学院修了生4名が新たな一歩を踏み出しました。



## ■2019年度入学式を挙行

2019年度大阪薬科大学入学式を、2019年4月2日(火)午前10時より本学体育館にて挙行了しました。

夢や希望を抱いた新入生が、大学生としての第一歩を踏み出しました。開式の辞の後、政田幹夫学長から専門的な分野の学識を深めると同時に、幅広い教養を生涯にわたって培っていくことの大切さ、ならびに薬学教育の自覚を促すための説明があり、新入生を激励しました。



## ■体育館吊天井・LED照明改修工事

2018年大阪府北部地震によって被害を受けた体育館吊天井の改修工事が、2019年3月に完了しました。吊天井を全面撤去したことにより、天井が高くなり広々とした空間に生まれ変わりました。また、アリーナを初め、トレーニングルーム、更衣室など体育館全館の照明をLED照明に改修したことにより、従来の1.5倍以上も明るくなり、「快適に練習ができるようになった」と学生さんからも好評です。今後は、シャワー室やトイレ等のアメニティーも改修し、学生さんが安全で快適に授業・実習、クラブ活動ができる環境を推進します。



バドミントン部・卓球部



体育館の新しい天井



## ■図書館利用案内冊子が新しくなりました

今までは新入生ガイダンスで配布していましたが、図書館内でも配布し、全学年の学生に手にとってもらえるようにしました。図書館利用時に大いに活用してください。

巻末には情報倫理に関するページも収録しましたので、  
ご一読ください。



被害者にも加害者にもならないぞ。  
でも、それも自分の意識次第！  
情報倫理感は、皆さんを  
ネットトラブルから守る「お守り」です。



## ■図書館ホームページをリニューアルしました



大学ホームページのリニューアルに伴い、図書館のページもリニューアルしました。スマートフォンやタブレットに対応したデザインになっています。



## こちら広報室



### ◆ だいやくんダイアリー ◆



大学の応援隊長だいやくん。ちゃんと仕事をしているところをお見せします。

3月22日

同じ法人の高槻中学・高校の図書館へ行って来たよ。  
 去年の9月にオープンしたばかりの真新しい図書館は、  
 最新の設備を備えたとってもオシャレな内装で  
 まるで美術館かカフェのよう。  
 ここを利用できる生徒がうらやましいな。



大阪医科大学図書館へもお邪魔したよ。  
 さすが医学部の図書館は難しそうな専門書がずら〜り並んでいるね。



折角、大阪医科大学に来たんだから、  
 高山ニヤ近くんを表敬訪問。  
 大阪医科大学と大阪薬科大学の  
 今後について、しばしナイショ話。  
 (ワレワレハドウナルノダロウ)



4月2日

大阪薬科大学入学式に潜入。  
 新入生みんなの表情は真剣そのもの。



4月5日

大阪医科大学新入職員の施設見学会に着いて行ったよ。  
 中でも面白かったのが秘密(?)の  
 地下通路を案内してもらったこと。

地下って  
 探検してる  
 みたいでワクワク



説明は真剣に  
 聞くタイプ



4月8日

学期の始まりには、  
大学まで定期的出張販売に  
来てくださる市営バスの方々。  
いつもありがとうございます。  
僕には定期券は必要ないけれど、  
ちょっとまねごとをしてみましたよ。



やっと桜が満開になったよ。  
今年はいつよりもちょっと遅かったみたい。  
(大学の裏山にて)

5月13日

今日は五月祭。1年生のみんなは大学生活に慣れたかな？



五月祭に合わせて好評のキッチンカーがやって来たよ。  
快晴の空のもと、おいしい!! たのしい!! サイコー!

## 編集後記

学報や社内報担当者が一番の悩みは「読んでもらえない」ということらしいです。かくいう自分もご多分に漏れずです。若者の活字離れが叫ばれている昨今、仕方ないことではありますが、つまらないありきたりの文字ばかりの内容だと読む気がなくなるのもわかりますし、斜め読みで済ませてしまうのも納得できます。かといって、あまり砕けた内容にすると炎上するかも知れませんが、頭を悩ませる日々です。

あれこれという企画(例えば、皆さんの心をくすぐるような織り込み企画とか)を思いついては、これはアカン!とボツにして、自分の発想力のなさに落胆します。

ここにだいやくんという一匹の熊のぬいぐるみがあります。一応、大阪薬科大学のキャラクターとして誕生させたのですが、まだまだマイナーでその存在はあまり知られていません。

『学報を読んでもらえないのなら、見てもらえるものにするため、キャラクターを登場させて興味を持ってもらえる内容にしてはどうか。そしてそのキャラクターが勉強、実習と忙しい日々を過ごしている学生を応援する存在になれば…。蓄休め的なオアシス的な薬学部というちょっと堅い雰囲気や和らげられる存在になれば…。』

そんな想いから、だいやくんは学報に登場するキャラクターとして産声を上げました。今回の学報にも随所に登場しています。

今、世の中はゆるキャラがあふれている時代です。学生の皆さんが生まれた頃には既にそういった環境だったでしょうから珍しくもなともないと思います。広報の1つのツールとしてキャラクターが存在する大学は全国にたくさんありますし、ゆるキャラは特異で奇異な存在ではないのです。でも、やはり、受け入れてもらえるまでには労力と時間を要することを痛感しています。

先日、大阪薬科大学は大阪医科大学と2021年4月に大学統合し、「大阪医科薬科大学(仮称)」が誕生することが発表になりました。大学が統合すると様々なことについて、「どうなっていくんだろう」という期待感もありますが、「どうなっちゃうんだろう」という不安感もあります。

大阪医科大学にも、だいやくんよりよっぽど知名度は高く、クオリティも高い、その名も「高山ニヤ近」くんという猫のキャラクターがいらっやいます。

統合後は、大阪の熊と猫だから「大熊猫」=パンダでいいんじゃないの? などという安直なアイデアを口にしたこともありますが、果たしてどうなるのか。

このキャラクターの行く末もどうか見守ってください。

(図書・情報課長 三角 智津)

▶ご意見・ご要望等連絡先メールアドレス [kouhou@gly.oups.ac.jp](mailto:kouhou@gly.oups.ac.jp) メールタイトルに「学報」と明記してください。

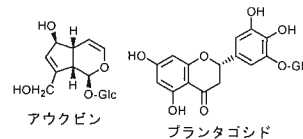


## オオバコ (オオバコ科)

*Plantago asiatica* Linné薬用植物園長 教授 谷口 雅彦  
薬用植物園 技術職員 忍穂 陽介

国内では北海道から沖縄までの一部離島を除くほとんどの場所に分布し、国外では東南アジアにかけて広く分布する。ごくごく普通に道端などで見かける雑草の代表例であり、花柄の部分で引き相撲などで子供までなじみのある植物である。養分、水分が少なくても育ち踏圧にも強い。名前の由来は葉が広く大きいことから「大葉子」とされた説がある。漢名は車前(シャゼン)で、車の通る道によく生えることからつけられた。花は4月から9月頃にかけて、10cmから30cmの花茎に下から上に咲いていく。花の色は、淡い紫や白色で雌しべが先に出て、しおれてから雄しべがつく。種子は細かく、湿気をおびると粘液を出し、動物などと共に移動する。そのため、高山植物などと共にみられることがある。また、小笠原諸島などの離島に上陸する際に、靴を海水などで洗われることがある。それは、このような植物の侵入防止の

ためであり、こういった場所に訪れる際には、種の保存のためにもご協力いただきたい。



薬用としては、種子をシャゼンシ(車前子)、花期の全草をシャゼンソウ(車前草)と呼び、日本薬局方に収載されている。両生薬とも利尿、抗炎症、鎮咳作用を有しており、シャゼンシは牛車腎気丸(ごしゃじんきがん)、清心蓮子飲などの漢方薬に配合されるが、シャゼンソウは利尿、鎮咳、去痰の目的で民間薬として用いられる。

主要含有成分は、イリドイド配糖体のアウクビン、フラバノン配糖体のプラントゴシドなどである。また、種子には粘液性多糖類のプラントサンやプラントゴムシラーゲAなども含有している。このため日本薬局方に『本品1gに温湯2mLを加えて10分間放置するとき、種皮は膨起して粘液を出す。』という確認試験がシャゼンシに規定されている。皆さんも一度試してみても如何でしょうか。



シャゼンシ

シャゼンソウ

参考 「薬草カラー図鑑」(主婦の友社)  
「原色日本薬用植物図鑑」(保育社)  
「第十七改正日本薬局方解説書」(廣川書店)  
「生薬単」(丸善雄松堂)

## 主な後期行事予定

2019年		
9月	13日(金)	後期授業開始
	17日(火)	特別演習・実習ポスター発表会(6年次生)
	28日(土)	父母懇談会(広島)
10月	5日(土)	父母懇談会(梅田)
	12日(土)	父母懇談会(高松)
	18日(金)	防災訓練
	26日(土)	父母懇談会(本学)
11月	2日(土)・3日(日・祝)	第54回大薬祭
	10日(日)	2020年度指定校制推薦入学試験・公募制推薦入学試験・帰国生徒特別選抜入学試験
12月	10日(火)・11日(水)	CBT本試験
	21日(土)	OSCE本試験
2020年		
1月	18日(土)・19日(日)	2020年度大学入試センター試験
2月	1日(土)	2020年度一般入学試験A
	9日(日)	2020年度一般入学試験B
3月	6日(金)	2019年度学部および大学院学位記授与式

大阪薬科大学公式Twitterを開始しました!

大阪薬科大学では、Twitter(ツイッター)を使用した情報発信を開始しました。Twitterをご利用の方は、ぜひ「フォロー」をお願いいたします。  
大阪薬科大学公式Twitter (アカウント名:@OUPS\_PR)



大阪薬科大学は、2016(平成28)年度に一般社団法人薬学教育評価機構の認証評価を受け、同機構の評価基準に適合していると認定されました。



本学は公益財団法人大学基準協会による2018(平成30)年度認証評価の結果、同協会の定める大学基準に適合しているとの認定を受けました。